

別所地区 市政懇談会資料 (意見交換)

日時：令和7年10月19日

午後6時00分～

場所：別所町公民館

市政懇談会出席者一覧

役 職	氏 名
市 長	なか した かず ひこ 仲 田 一 彦
副 市 長	いし だ ひろし 石 田 寛
副 市 長	ごう だ ひとし 合 田 仁
教 育 長	おお きた ゆ み 大 北 由 美
総合政策部長	あか まつ ひろ あき 赤 松 宏 朗
総務部長	ふじ わら けん じ 藤 原 健 二
市民生活部長	くだ まつ とし き 降 松 俊 基
健康福祉部長	やま しろ ち あき 山 城 千 明
産業振興部長	あら いけ よう じ 荒 池 洋 至
都市整備部長	とも さだ ひさし 友 定 久
上下水道部長	にしき のぼる 錦 昇
議会事務局長	こう もり のぶ あき 公 森 伸 明
消 防 長	だい とう しげ よし 大 東 成 吉
教育総務部長	もり た ま き 森 田 真 規
教育振興部長	やま ぐち まさ あき 山 口 正 明

地区からの意見・提言(意見交換)

別所地区

	意見・提言の内容	回答者
1	別所小中一貫校への取組について	教育振興部長
2	中学生の部活動の地域移行の進捗状況について	教育総務部長
3	市内公民館のエレベータ設置の状況と別所町公民館のエレベーターの設置について	教育総務部長

市政懇談会 回答

地区名	別所地区	
意見・提言等	1	別所小中一貫校への取組について (区長協議会)
(内容)		
別所小中一貫校設置に向けた取組について、現状と今後の取組を説明いただきたい。(・経過、目指す児童像、付けさせたい力、内容、実施時期、形態施設(一体型、分離型)等)		
(要望)		
・推進機関として地域協議会を設置するとともに住民説明会を開催し住民、保護者、学校関係者、行政の立場から丁寧に話し合いを持ち計画してほしい。		
・住民、保護者に小中一貫校設置の必要性和メリットについて十分に説明し、デメリットが考えられる場合、その克服策を示してほしい。		
・分離型の場合、教職員や児童生徒の移動時間が多く必要で、教育課程実施において無理が生じるのではないかな。		
・分離型の場合、教職員の定数を多くする必要があるのではないかな。		
回 答	(担当課) 教育振興部 小中一貫教育推進室	
三木市では、子どもたちを9年間で一貫して見守り育てていくために、令和3年度を「小中一貫教育の移行元年」と位置づけ、市内全域で教職員への周知や導入に向けた取組を進めてきました。		
小中一貫教育を通じて、「主体性」「協働性」「創造力」の3つの力を育むことを目指しています。これらを通じて、「未来を創る学力」「共に生きる力」及び「健やかな心と体」を身につけた15歳の育成を目標としています。		
別所地域は、1小学校と1中学校が同じ校区であり、連携が取りやすいことから、令和4年度より「実践推進校」として取組を推進しています。現在は、中学校教員による小学校での授業をはじめ、小・中学校教員による交流研修や9年間を見通したカリキュラムづくり、児童生徒間の積極的な交流活動にも力を入れており、児童生徒の安心感や学びのつながりが見られます。さらに9年間のつながりの意識を高めるため、本年度より、保護者にも説明を行い、中学校1年～3年生の呼び方や教室の表示などを7年～9年生に		

変更しました。

市の計画としては、施設一体型小中一貫校の設置を目標としていますが、別所小中一貫校の具体的な設置形態や時期については、まだ決定していません。現在、三木市全体の学校の在り方について、今後予測される人口推移も見ながら整理を進めているところです。別所小中一貫校の設置についても、こうした全体の方針とあわせて、必要な時期に具体的な検討を進めてまいります。

つきましては、学校の方向性がお示しできるときには、説明会の開催など地域の皆様のご意見を伺う機会を確保していきたいと考えております。

今後も地域の皆さまと意見交換を重ねながら、子どもたちの学びが途切れず、安心して成長できる教育環境を整えてまいります。

市政懇談会 回答

地区名	別所地区	
意見・提言等	2	中学生の部活動の地域移行の進捗状況について（区長協議会）
（内容） 中学校の部活動の地域移行の取組について次の点について説明いただきたい。 ・現状（地域移行している部活、計画中の部活） ・今後の予定（開設に向けての働きかけ、何をどのように行っていて、どこまで進んでいるか） （要望） ・3年後の実施までに希望する生徒の受入れができる体制を作りあげてほしい。 ・市として、平日の放課後の学校や公民館等の利用や指導者の確保の働きかけを積極的に行ってほしい。 ・生徒が、できるだけ遠くへ行かなくてもよいような設定をしてほしい。		
回 答	（担当課） 教育総務部 文化・スポーツ課	
中学校部活動の地域展開については、少子化などにより部活動の存続が難しくなる中で、「地域の子どもたちは地域で育てる」という考えの下、地域のスポーツ・文化芸術資源を最大限活用し、子どもたちの多様なニーズに応じた持続可能な活動を実現しようとするものです。 したがって、地域クラブ活動（みきタイプ）は、既存の部活動がそのまま地域へ移行するのではなく、中学生の新たなスポーツ・文化芸術活動の場を創る取組です。 子どもたちが参加したい地域クラブができるよう、様々な団体と協議等を進めており、現時点で20団体が地域クラブとして認定されました。 ご要望の件につきましては、教育委員会においても課題と認識しており、引き続き課題解決に向け努力してまいります。 別所まちづくり協議会におかれては、これまでも中学生とともに様々な活動をされてきた実績があります。地域クラブ活動の展		

開においても、中学生の活動の場づくりにご協力いただきますようお願いいたします。

【地域クラブの現状】

団体数 20団体（スポーツ9、文化芸術11団体）
種目等 サッカー、フラダンス、バスケットボール（2）
空手(2)、野球、バレーボール、陸上、将棋、和太鼓(2)、合唱（6）、
絵画、囲碁

※この他、先行事業としてゴルフクラブが活動中です。

【現在までの取組状況】

令和7年7月	5日（土）	運営団体募集説明会
8月	1日（金）	運営団体の募集開始 指導者等人材バンクの登録開始
8月18日（月）	～27日（水）	児童生徒・保護者向け説明会開催
9月22日（月）		地域クラブ活動推進協議会開催
9月末		地域クラブ第1次認定

市政懇談会 回答

地区名	別所地区	
意見・提言等	3	市内公民館のエレベーター設置の状況と別所町公民館のエレベーターの設置について (区長協議会)
(内容)		
市内の公民館におけるエレベーター設置状況をお聞きしたい。 従来より別所町公民館におけるエレベーターの設置を求めているが、昨年度の書面回答では令和10年度設計、令和11年度から施工する予定とあった。財政健全化を着実に進められておられるとのこと。現在、公民館の2階では子ども食堂も開設されており、利用者が増加し、最近では1日につき、100名近い利用者がある。高齢の利用者も多く、また、重い食材を階段で運ぶことにも労力を要している。このような状況を鑑み、1年でも早くエレベーターを設置していただきたい。		
回 答	(担当課) 教育総務部 生涯学習課	
現在、市内の公民館10館のうち、6館においてエレベーターを設置しております。未設置の公民館は、別所町公民館、志染町公民館、細川町公民館及び口吉川町公民館です。 公共施設については、施設全体の老朽度や傷み具合などを考慮し、大規模改修工事の事業実施計画を立てており、別所町公民館については、令和10年度から設計、11年度から大規模改修工事を実施する予定でした。 しかし、計画策定時と変わってきた最近の別所町公民館の利用状況を鑑み、少しでも早くエレベーターを設置することができないか、来年度(令和8年度)に設計作業を行い、エレベーターの設置場所や施工手順、工事費用などを確認し、検討したいと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。		

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.